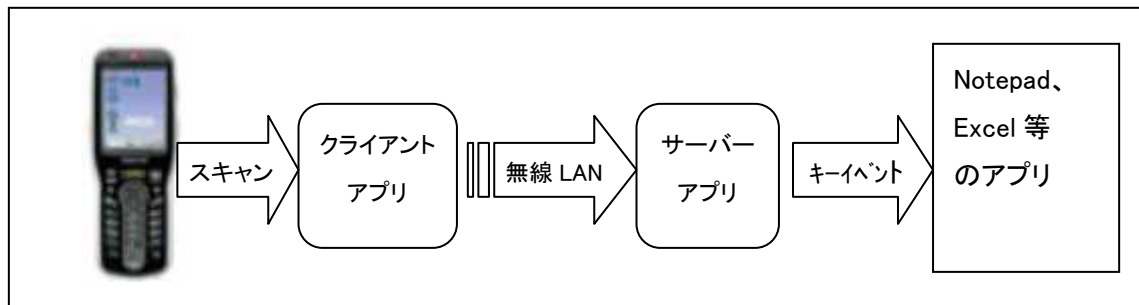


スキャナーキーイベントアプリ

1 概要

PM250 でスキャンした内容を、無線 LAN を通じてサーバ PC へ通知し、サーバ PC で起動しているアプリケーション(メモ帳や Excel など)へキーイベントとして通知します。



サーバ側アプリ: KeyEventSv.exe

クライアント側アプリ: KeyEventCl.exe

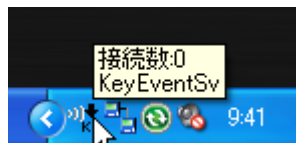
2 サーバ (PC)

KeyEventSv.exe を任意のフォルダに配置します。

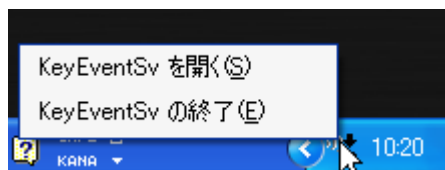
起動するとタスクトレイに常駐し、アイコンが表示されます。



アイコンにマウスカーソルを合わせると、名前とクライアントの接続数をポップアップ表示します。



アイコンを右クリックするとポップアップメニューを表示します。



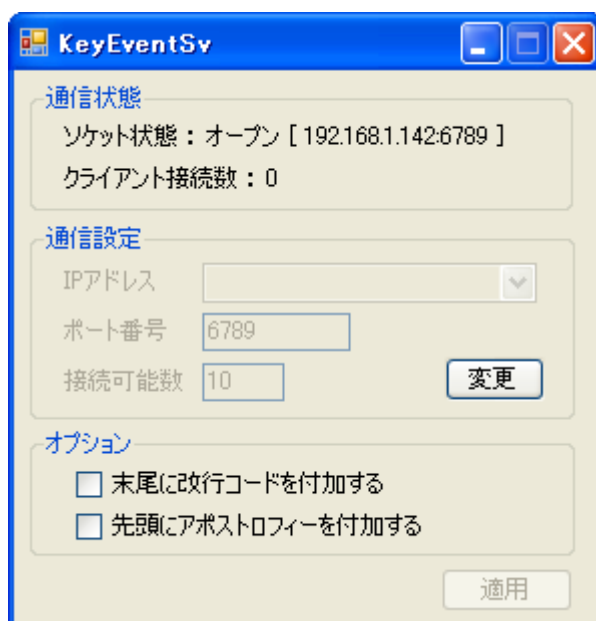
「KeyEventSv を開く」

パラメータ設定画面を開きます。

「KeyEventSv の終了」

本アプリを終了します。

2.1 パラメータ設定画面



通信状態

・ソケット状態

オープンまたはクローズでソケットの状態を表します。

オープンの場合、オープンしている IP アドレスおよびポート番号也表示します。

図の例では、IP:192.168.1.142 の ポート 6789 でオープンしています。

・クライアント接続数

接続しているクライアントの数を表示します。

通信設定

・IP アドレス

ソケットをオープンする IP アドレスを指定します。

何も指定しない場合は、PC のデフォルトの IP アドレスでオープンされます。

複数 IP アドレスを持つ PC で起動する場合は、▼をクリックし、一覧より使用する IP アドレスを選択して下さい。

・ポート番号

ソケットをオープンするポート番号を指定します。

デフォルトは 6789 となっています。ポート 6789 を他アプリで使用している場合などは変更してください。

・変更ボタン

通信設定を変更する場合に使用します。変更する際にはソケットを一旦閉じるため、接続しているクライアントは切断されます。

※ ファイアウォールが設定されている環境では、通信がブロックされる場合があります。
適切にファイアウォールの設定を変更してください。

オプション

・末尾に改行コードを付加する

スキャン結果の末尾に Enter キーを追加します。

・先頭にアポストロフィーを付加する

スキャン結果の前にアポストロフィー(')を追加します。

主に EXCEL での文字入力の場合に使用します。

適用ボタン

変更内容を保存する場合に使用します。

設定内容は下記に保存されます。

C:\¥Documents and Settings¥(UserName)\¥Local Settings¥Application Data

配下に

¥Hamamatsu_TOA_Electronics¥KeyEventSv.exe_Url_(hash)\¥1.0.0.0¥ user.config

が作成され、設定内容が保存されます。

※ (UserName)、(hash) の部分は環境によって異なります。

キーイベント受信するアプリケーションについて

本アプリケーションから送信されたキーイベントは、アクティブウィンドウで受信されます。
スキャン実施前に受信アプリケーションを起動しアクティブにしておく必要があります。

アルファベットの扱いについて

本アプリケーションでは、CapsLock の状態を識別していますが Shift キー、Ctrl キーの状態は識別しておりません。

アルファベットを含むバーコードをスキャンした場合、大文字／小文字は区別され、CapsLock の状態に従ったキーイベントが発行されます。

しかし、Shift キーや Ctrl キーを押しながら実施した場合、予期しない結果になる場合があります。

キーイベント発行可能文字

数字 012345689

英字 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

記号 ! " # \$ % & ' () * + , . < > : ; / ? @ ` [] ^ _ { } | ~ `

スペース

3 クライアント (PM250)

KeyEventCl.exe を任意のフォルダに配置します。

起動するとメイン画面を表示します。



画面上部に無線 LAN の接続状態、SSID(接続先)、受信電波強度の情報を表示します。

画面下部にはソケットの接続状態、サーバアドレス、ポート番号を表示します。

サーバアドレスとポート番号は未接続の場合のみ編集可能です。

サーバアドレスとポートを設定し「適用」ボタンを押します。

保存確認、接続確認に「はい」で応答すると接続中へ遷移します。

※「接続中」とは接続処理実施中であり、まだ接続完了はしていません。



設定された内容は下記レジストリに格納されます。

HKEY_CURRENT_USER¥Software¥HTOA¥KeyEvent

次回起動時から、設定内容に従って自動的に接続されます。

サーバとの接続が完了すると、タスクトレイに常駐し、メイン画面は消えます。代わりにタスクトレイにアイコンが表示されます。



※環境によって異なりますが、接続処理には5～10秒程度かかります。

タスクトレイのアイコンをタップするとポップアップメニューを表示します。



「KeyEventCl を開く」
メイン画面を開きます。

「KeyEventCl の終了」
プログラムを終了します。

4 スキャン実施

KeyEventSv、KeyEventCl を起動し接続します。

サーバ PC にて、Excel 等のアプリケーションを起動します。

PM250の「SCAN」キーでバーコードをスキャンすると、スキャン結果が Excel 等に入力されます。